

パラメディカルピグメンテーション同意書/注意事項説明書

☐ パラメディカルピグメンテーションによる頭皮への施術とは

パラメディカルピグメンテーションによる頭皮等への施術とは、頭髮の減耗・生え際の後退・脱毛症・手術や事故等による傷跡・植毛後の隙間、産後や加齢による薄毛などの症状に対し、医療アートメイク^{注意1)}の色素形成技術を用いて、毛が生えているように再現・充填・補修することをいいます。

注意1) 皮膚の真皮上層部から中層部に、専用の極細針を用いて人体に安全な色素を刺入/着色する施術のことをいいます。

持続性のある「落ちにくいメイク」とも呼ばれ、主に眉・アイライン・口唇に施し、一度皮膚に色素を入れるとその持ちは年単位で保たれます。染色後、一定期間が経過すると色調が徐々に薄くなっていきますが、色素の補充や修正により再現することが可能です。日本では、法改正により医療機関でのみ行うことが認められた医療行為とされています。(平成13年11月8日厚生労働省医政医発第105号に準ずる医療行為)

☐ 経過

施術部位は、3～5日程度で痂皮化(かさぶた)し、1週間ほどで少しずつ剥がれていきます。施術直後は色調が濃く発色しますが、徐々に薄くなります。染色された色素は、時間の経過により変色・退色していきますが、完全に消えてなくなることはありません。

初回の施術の場合、色素の定着を安定/持続させるためには、4週間前後の期間を空け、2～3回の施術を繰り返すことを推奨しています。(皮膚の代謝や色素の定着には個人差があります。定着しにくい方は複数回の施術をお勧めします。)

☐ 施術によるリスク

【一時的な症状】腫れ・出血・内出血・発赤・熱感・しびれ・痂皮化/痂皮脱落・脱毛等

【アレルギー】薬剤/金属/色素/ゴム/局所麻酔(リドカイン、キシロカイン等)/その他使用する備品によるアレルギー

※アレルギー反応/症状が出現した場合は、施術を中断しアレルギー治療を優先します。(金属アレルギーが心配な場合は、事前にアレルギー検査を行うことをお勧めします。当院では検査を行っておりません。)

【合併症】ヘルペス・感染症・肥厚性瘢痕・ケロイド・肉芽・肉芽腫・皮膚障害・膜損傷・血管閉鎖・陥没・感覚機能の低下・ドライアイ・化学物質過敏症等

【色素の定着に関する事項】左右差・不均等・色ムラ・想定より発色が濃い/薄い・退色/変色・形状の変化等

☐ 禁忌または適応注意

* 妊娠中・妊娠の可能性のある方・授乳中の方

* 持病や上記リスクに該当するアレルギーがある場合やアレルギー体質の方

* 脳梗塞や肺塞栓によりワーファリンやバイアスピリン等の抗凝固薬・抗血栓薬を服用している方

* 局所麻酔(リドカイン、キシロカイン等)でアレルギー・アナフィラキシー反応を起こした方

* ケロイド体質の方

* B型肝炎、C型肝炎、血友病等、何かしらの感染症をお持ちの方(確認のための血液検査をさせて頂く場合があります)

* 飲酒をされている方

* その他、医師により施術ができないと判断された方

【主治医に許可を得た場合のみ可】*主治医による確認書または意見書等をご持参ください

* 長期的にステロイドを内服している方

* 糖尿病を患っている方。特にインシュリンを投与されている方

* 全身疾患で特別な治療を受ける予定のある方、または受けている方

☐ 注意事項

- * シャンプーは施術翌日より可能です。施術部位は擦らず優しく洗ってください。施術後2週間は、低刺激のシャンプーを使用してください。
- * 痛みや腫れがある場合は施術部位を冷やしてください。
- * 腫れ・出血・かゆみ・赤み等の症状が続き、異常を感じた場合は当院へ連絡ください。
- * かさぶたは自然に剥がれるのを待ち、無理に剥がしたりしないように注意してください。
- * 当日の激しい運動、サウナ、入浴（シャワーは可）、飲酒はお控えください。
- * 痛みや腫れが治まるまでは創部を擦らないようにしてください。
- * 治療前後1か月程度は日焼けに注意してください。また退色/変色予防のため、日頃からUVケアを行うように心がけてください。
- * カラーリングやパーマは、施術から2週間後より可能です。

☐ その他

- * 医師の管理/指導のもと看護師による施術となります。
- * 頭髮の減耗や後退・薄毛などが進行した場合、パラメディカルピグメンテーションを入れた部分だけが目立ってしまう場合があります。
- * 白髪が増えた場合、自毛との馴染みが不自然となったり色調に差が出る場合があります。
- * 施術による仕上がりや必要な回数には個人差があること、また100%の仕上がりや約束するものではないことを予めご了承ください。
- * デザインや色調など、施術前に想定していた仕上りのイメージに相違が出る場合があります。
- * 個人の性質を無視した要望や、過度なご要望には添えない場合があります。
- * 他院にて施されたパラメディカルの修正は、お断りさせていただく場合があります。
- * 心療内科・精神科に通院中の方は、医師の判断で施術をお断りさせていただく場合があります。
- * 一度施術を行うと、施術前の状態に完全に戻すことはできません。
- * 施術により起こり得たリスクによる払い戻し等は致しかねます。

【MRI について】

近日中に MRI 撮影を受ける予定のある方は、カウンセリングの際に必ずお申し出ください。

パラメディカルピグメンテーションを行った後に当該部位の MRI 撮影を行う場合、可能性としては稀ですが、色素に含まれる微量な金属片が反応し、熱感/熱傷を起こす可能性があります。引き続き検査を受ける際には、念のため主治医および放射線技師にパラメディカルピグメンテーションが施された箇所をお伝えください。

☐ 施術によるリスクの範囲内でトラブルが生じた場合、基本的には貴院に責任を負う義務はないことを承知していますが、貴院の判断によりやむを得ず特別な処置をとる事案が生じた場合は、その処置を継続する必要性など、すべての判断基準は医学的所見によるものとするに異議申し立てを致しません。

☐ 貴院でパラメディカルピグメンテーション施術を受けるにあたり、カウンセリングにより施術及び注意事項について十分な説明を受け、納得し、実施を承諾いたします。

尚、この書面上の私の署名は、私の自由意思によって行うものであり強制されたものではありません。

20 年 月 日

氏名

〒440-0011 愛知県豊橋市牛川通1丁目21-7

佐藤脳神経外科

TEL0532-69-2760